

5. 異性とかかわることの面倒さ

少なからず面倒と感じているのは男性 30%に比べ女性 36%で有意差($p<0.01$)を認めた。同じように「全く面倒でない」は男性 24%、女性 19%と男性が有意($p<0.05$)に高値であった。

婚姻形態からみると、結婚することにより男性は異性とのかわりに「面倒」と考えるものが減少し、女性は「面倒」と捉えるようになってきていることが窺われた。

前項のセックスの関心度について女性が男性に比べ低いことと合わせ、男性との関係性を面倒と考えているのが多いのは、前述同様少子化問題に関連しているように思われた。

6. コンドームの使用促進について

「性感染症(STD)予防のためにも重要であるが、どのようにすれば利用が増えるか？」男女共に「有効性を周知させる」が 40%前後を示しており、避妊のみならず半数近くのもの STD やエイズ予防の認識が高まってきているようである。

7. 低用量ピルの認識

ある程度を含め低用量ピルの認知度は、男性 63%、女性 70%であり、前回調査よりも上昇しており、特に男性のほうが前回より有意($p<0.05$)に高まっていた。逆に「全く知らない」は男性 5%、女性 4%と低くなっていた。

8. 緊急避妊ピルについて

緊急避妊ピルの認知度は女性に多く 30%弱、男性は 20%であった。前回調査時の女性 11%、男性 6%に比べ有意($p<0.001$)に認知度は上昇していた。そしてその使用率は女性 10%であり、男女間格差が大きく女性は男性に告げずに使用していることが推察された。しかしながら、前回調査に比べ女性の使用率が 11%であり、大きな変動はみられなかった。

9. 適切と判断する避妊法

わが国の考える避妊法は、旧態依然として「コンドーム」が主体で、次に「ピル」をあげるのが男性 25%、女性 29%とピルの認知度とともにピルを適切な避妊法として捉えられるようになってきた。

適切と判断する避妊法について、男性は「コンドーム」「ピル」「膣外射精法」と選択肢の狭さが伺われ、女性では「コンドーム」「ピル」「膣外射精法」に加え「基礎体温法」「オギノ式」「IUD」「緊急避妊法」と選択肢の広がりをみせており、特に、若い世代に、避妊法の選択肢の広がりは顕著であった。

Ⅲ. 性行動の実態

1. 性交経験者

調査対象となった全体における性交経験者は、男性で541名(85.1%)、女性672名(86.9%)であり、2004年調査の男性82.0%、女性85.7%に比べ、男性3.1ポイント、女性が1.2ポイント上昇していた。これを姻戚関係でみると、初婚、再婚、離婚、死別という既婚者は、男女とも100%性交経験者であり、未婚者の男性86名(32.6%)、女性89名(33.5%)が性交未経験という結果であった。

表 18-1. 世代別性行動の実態

	世代	ある	ない	無回答	総計
男性	25歳未満	59(51.3)	53(46.1)	3(2.6)	115
	25-34歳	164(86.3)	26(13.7)		190
	35-44歳	218(95.6)	7(3.1)	3(1.3)	228
	45歳以上	100(97.1)	2(1.9)	1(1.0)	103
男性計		541(85.1)	88(13.8)	7(1.1)	636
女性	25歳未満	83(56.5)	60(40.8)	4(2.7)	147
	25-34歳	205(88.0)	23(9.9)	5(2.1)	233
	35-44歳	246(96.9)	8(3.1)		254
	45歳以上	138(99.3)		1(0.7)	139
女性計		672(86.9)	91(11.8)	10(1.3)	773
総計		1213(86.1)	179(12.7)	17(1.2)	1409

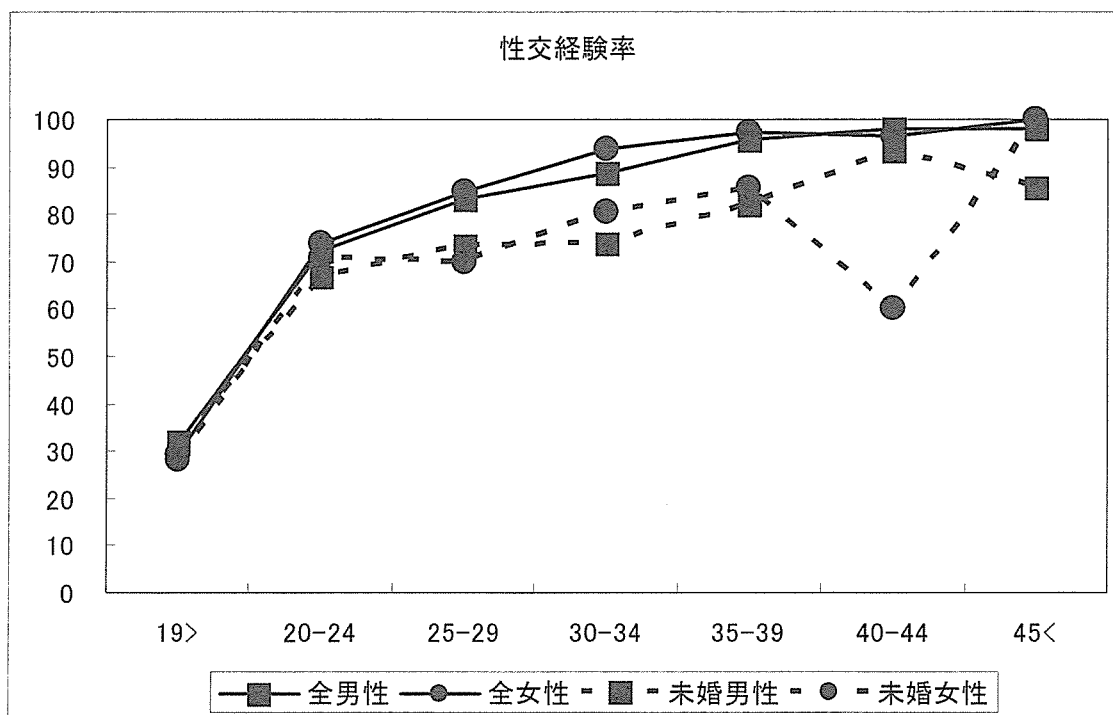
これを5歳階級別に2004年の前回調査(%)と比較すると、20歳未満の男性は7ポイント、20-24歳10ポイント、40-44歳9.3ポイントの上昇、他の年代では微増であった。女性は20歳未満と25-29歳で減少し、20-24歳11.4ポイント上昇し他は微増であった。

表 18-2. 男性の5歳階級別性交経験の有無：() 前回調査比

性別	年代	ある	ない	無回答	総計
男性	<19	30.4(23.4)	66.1(74.5)	3.6(2.1)	56
	20-24	72.1(62.8)	27.1(34.9)	1.7(2.3)	59
	25-29	83.1(81.9)	16.9(17.1)	0.0(1.0)	83
	30-34	88.8(90.2)	11.2(6.3)	0.0(3.6)	107
	35-39	94.9(92.7)	4.3(5.1)	0.9(2.2)	117
	40-44	96.4(87.1)	1.8(7.9)	1.8(5.0)	111
	45<	97.1(97.1)	1.9(0.0)	1.0(2.9)	103
合計		85.1(82.0)	13.8(15.2)	1.1(2.8)	636

表 18-2. 女性の 5 歳階級別性交経験の有無：() 前回調査比

性別	年代	ある	ない	無回答	総計
女性	<19	28.3(29.1)	67.9(65.5)	3.8(5.5)	53
	20-24	72.3(60.9)	25.5(37.9)	2.1(1.1)	94
	25-29	83.2(84.1)	14.9(13.3)	2.0(2.7)	101
	30-34	91.7(89.8)	6.1(8.0)	2.3(2.3)	132
	35-39	97.2(93.5)	2.8(2.6)	0.0(3.9)	141
	40-44	96.5(98.0)	3.5(0.7)	0.0(1.4)	113
	45<	99.3(96.8)	0.0(0.6)	0.7(2.5)	139
合計		86.9(85.7)	11.8(11.7)	1.3(2.6)	773
総計		86.1(84.1)	12.7(13.2)	1.2(2.7)	1409



2. 性的パートナーの数

過去1年間の性交関係のあったパートナー数は、男性では1人が307名(56.7%)、2-4人93名(17.0%)、5-9人47名(8.7%)、10人以上14名(2.6%)であった。一方、女性は1人が439名(65.3%)と男性に比べ有意($p<0.01$)に高値であり、2-4人の61名(9.1%)は男性に比べ有意($p<0.001$)に低値で、5-9名は23名(3.4%)同様であった。しかしながら10人以上は15名(2.2%)と男女間において有意差は認められなかった。過去1年間に性的関係を持たなかったのは男性51名(9.4%)、女性92名(13.7%)であり、後者が有意($p<0.05$)に高値を示していた。

世代別にここ1年間に2人以上の複数の性的パートナーを持ったものは、男性で25歳未満28名(47.5%)、25-34歳49名(29.9%)、35-44歳52名(23.9%)、45歳以上25名(25.0%)であり、男性全体で154名(28.5%)であった。女性では25歳未満22名(26.5%)、25-34歳39名(19.0%)、35-44歳25名(10.2%)、45歳以上13名(9.4%)と高齢にと共に減少しており、女性全体では99名(14.7%)であった。男女間において各世代間で有意差($p<0.05$, 0.05, 0.001, 0.01, 0.001)を認めている。

男性においては4分の1が複数の性的パートナーを有していることが明らかとなった。しかも、それは25歳未満で半数近くを占めていた。しかも、25歳未満ではひとりのパートナーの35.6%よりも上回っており、25-34歳29.9%、35-44歳23.9%、45歳以上25.0%と4分の1近くを示していた。

女性の複数の性的パートナーは14.7%であり、25歳未満において4分に1の26.5%と最も高く、25-34歳19.0%、35-44歳10.8%、45歳以上9.4%と35歳を過ぎると10%台と半減していた。

表 19-1. 世代別過去1年間の性的パートナーの数

F1	世代	1人	2-4人	5-9人	10人以上	無	無回答	総計
男性	25歳未満	21(35.6)	19(32.1)	7(11.9)	2(3.4)	7(11.9)	3(5.1)	59
	25-34歳	99(60.4)	34(20.7)	12(7.3)	3(1.8)	11(6.7)	5(3.0)	164
	35-44歳	130(59.6)	23(10.6)	22(10.1)	7(3.2)	21(9.6)	15(6.9)	218
	45歳以上	57(57.0)	17(17.0)	6(6.0)	2(2.0)	12(12.0)	6(6.0)	100
男性計		307(56.7)	93(17.2)	47(8.7)	14(2.6)	51(9.4)	29(5.4)	541
女性	25歳未満	48(57.8)	18(21.7)	3(3.6)	1(1.2)	10(12.0)	3(3.6)	83
	25-34歳	139(67.8)	22(10.7)	12(5.9)	5(2.4)	15(7.3)	12(5.9)	205
	35-44歳	163(66.3)	14(5.7)	4(1.6)	7(2.8)	37(15.0)	21(8.5)	246
	45歳以上	89(64.5)	7(5.1)	4(2.9)	2(1.4)	30(21.7)	6(4.3)	138
女性計		439(65.3)	61(9.1)	23(3.4)	15(2.2)	92(13.7)	42(6.3)	672
総計		746(61.5)	154(12.7)	70(5.8)	29(2.4)	143(11.8)	71(5.9)	1213

婚姻形態別についてみると複数のパートナーを持つ未婚男性は82名(48.0%)で初婚男

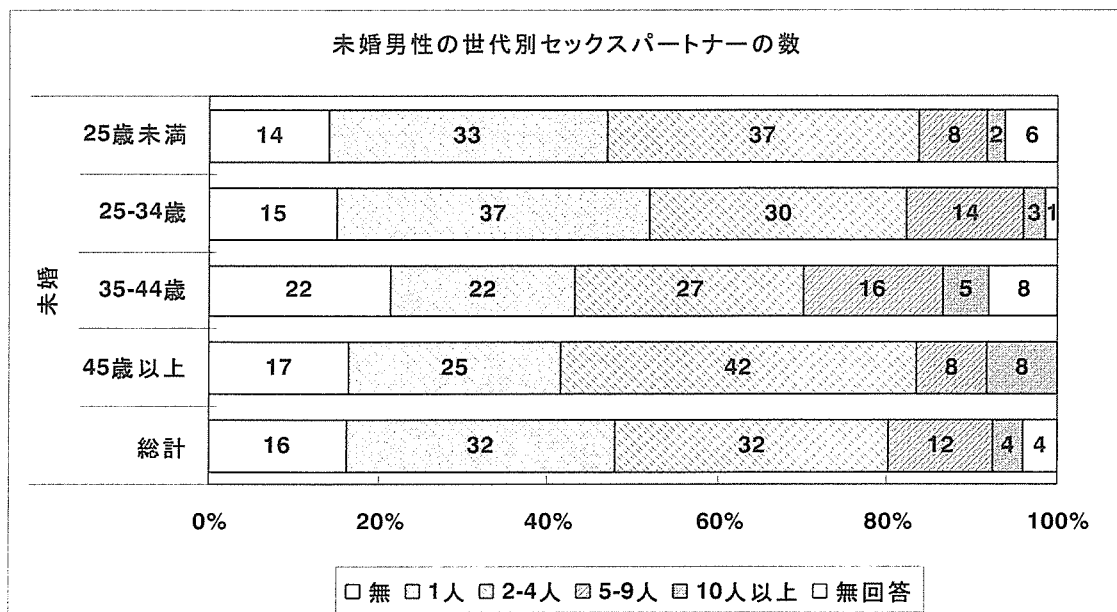
性の54名より有意(p<0.001)に高値であった。未婚女性も同様に45名(26.8%)と初婚女性の34名(7.9%)と男性に比べその割合は低いものの有意差(p<0.001)を認めた。

再婚女性は31.3%で初婚女性7.9%に比べ有意差(p<0.01)を認め、同様に離婚女性も28.3%で初婚よりも有意(p<0.001)に高値を示していた。

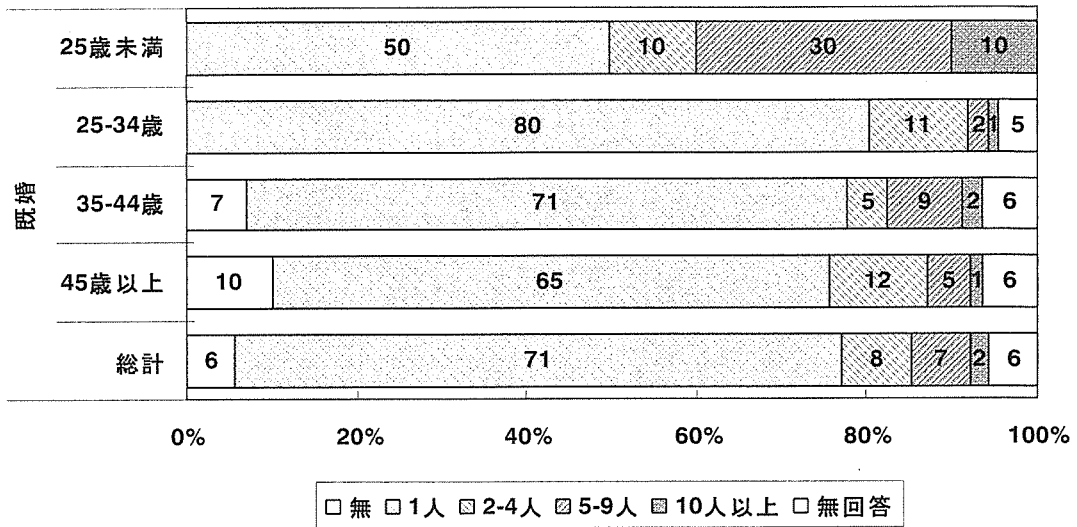
初婚・再婚での過去1年間セックス無が男性で5.8%、5.6%、女性は10.9%、6.3%と男性より高かった。

表 19-2. 婚姻形態別過去1年間の性的パートナーの数

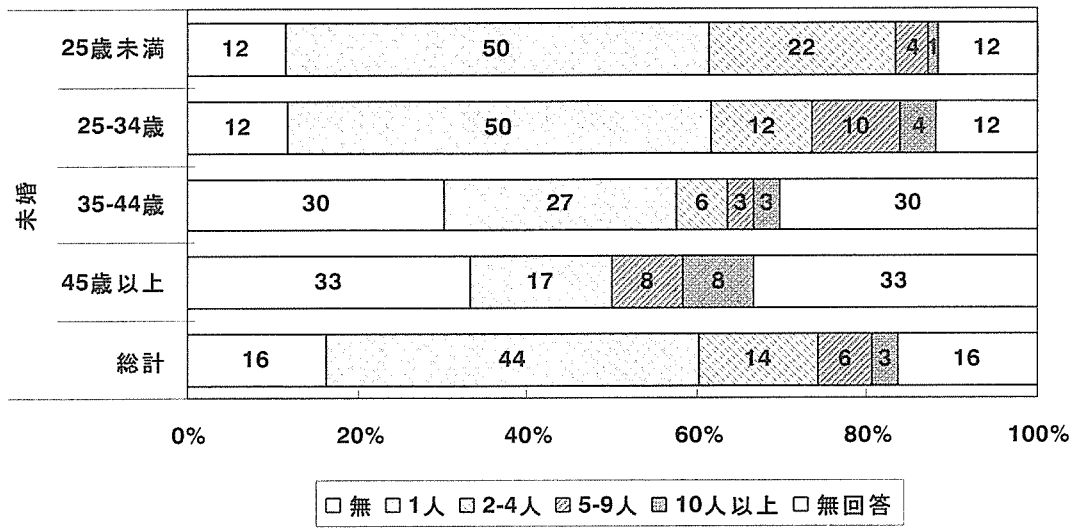
F1	婚姻	1人	2-4人	5-9人	10人以上	無	無回答	総計
男性	未婚	31.6	32.2	12.3	3.5	16.4	4.1	210
	初婚	71.6	7.9	7.0	1.5	5.8	6.1	328
	再婚	66.7	11.1	5.6	11.1	5.6	0.0	18
	離婚	27.8	44.4	11.1	5.6	11.1	0.0	18
女性	未婚	50.0	16.1	7.1	3.6	18.5	4.8	208
	初婚	74.6	5.1	1.4	1.4	10.9	6.7	433
	再婚	62.5	12.5	6.3	12.5	6.3	0.0	16
	離婚	39.1	19.6	8.7	0.0	26.1	6.5	46

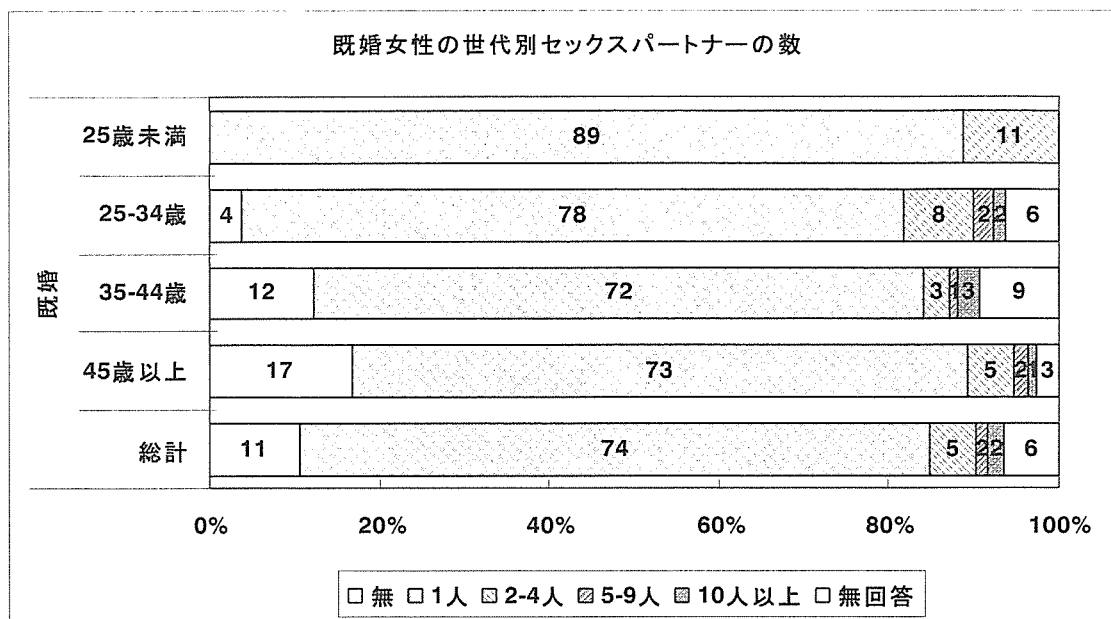


既婚男性の世代別セックスパートナーの数



未婚女性の世代別セックスパートナーの数





3. セックスのパートナーが変わることの意味合い

セックスの相手が変わることへの意識について、その重みが「かなり重大なこと」と考える男性は197名(36.4%)、「重大なこと」183名(33.8%)計380名(70.2%)であり、女性は「かなり重大…」351名(52.2%)、「重大…」204名(30.4%)計555名(85.6%)と女性がその深刻性を強く捉えており、男女間に有意差($p < 0.001$)を認めた。また、その重みも年齢を重ねることによって強く出ていることが示された。

表 20-1. 世代別セックスパートナーの変わることへの意識

	世代	かなり重大	やや重大	やや軽い	かなり軽い	無回答	総計
男性	25歳未満	18(30.5)	17(28.8)	19(32.2)	2(3.4)	3(5.1)	59
	25-34歳	58(35.4)	59(36.0)	43(26.2)	2(1.2)	2(1.2)	164
	35-44歳	77(35.3)	75(34.4)	49(22.5)	6(2.8)	11(5.0)	218
	45歳以上	44(44.0)	32(32.0)	15(15.0)	2(2.0)	7(7.0)	100
男性計		197(36.4)	183(33.8)	126(23.3)	12(2.2)	23(4.3)	541
女性	25歳未満	40(48.2)	28(33.7)	11(13.3)	2(2.4)	2(2.4)	83
	25-34歳	77(37.6)	80(39.0)	35(17.1)	4(2.0)	9(4.4)	205
	35-44歳	143(58.1)	63(25.6)	12(4.9)	5(2.0)	23(9.3)	246
	45歳以上	91(65.9)	33(23.9)	8(5.8)		6(4.3)	138
女性計		351(52.2)	204(30.4)	66(9.8)	11(1.6)	40(6.0)	672
総計		548(45.2)	387(31.9)	192(15.8)	23(1.9)	63(5.2)	1213

それを未既婚別(除く離婚)についてみると、未婚男性は「かなり重大…」「重大…」を合わせると106名(62.0%)、既婚男性262名(75.7%)と後者に有意($p < 0.01$)に高いことが示されていた。同様に女性においても未婚者133名(79.2%)、既婚者381名(84.9%)

と後者に高いものの有意差は認めなかった。前回調査での未婚女性は 107 名（42.5%）と低値であり有意差を認めていたが、今回調査では深刻度が上昇していた。

表 20-2. 未既婚別別セックスパートナーの変わることへの意識

		かなり重大	やや重大	やや軽い	かなり軽い	無回答	総計
男性	未婚	41(24.0)	65(38.0)	54(31.6)	7(4.1)	4(2.3)	171
	既婚	152(43.9)	110(31.8)	63(18.2)	4(1.2)	17(4.9)	346
女性	未婚	64(38.1)	69(41.1)	26(15.5)	2(1.2)	7(4.2)	168
	既婚	260(57.9)	121(26.9)	32(7.1)	8(1.8)	28(6.2)	449

4. 決まった交際相手（配偶者含む）以外でセックスする関係のある方

「決まった交際相手（配偶者含む）以外の方で、セックスする関係のある方がいますか？」との設問に対する回答は、男性で 1 人が 55 名（10.2%）、2-4 人 21 名（3.9%）、5-9 人 1 名（0.2%）であり、いるというものが計 77 名（14.2）であった。女性は 1 人 42 名（6.3%）、2-4 人 9 名（1.3%）で、計 51 名（7.6%）、女性は男性の 2 分の 1 であり、世代別では男性 25 歳未満が最も多く、女性は 25-34 歳代が多かった。

表 21-1. 決まった交際相手（配偶者含む）以外でセックスする関係

F1	世代	1 人	2-4 人	5-9 人	いない	無回答	総計
男性	25 歳未満	11(18.6)	2(3.4)	1(1.7)	43(72.9)	2(3.4)	59
	25-34 歳	12(7.3)	8(4.9)		140(85.4)	4(2.4)	164
	35-44 歳	20(9.2)	6(2.8)		182(83.5)	10(4.6)	218
	45 歳以上	12(12.0)	5(5.0)		79(79.0)	4(4.0)	100
男性計		55(10.2)	21(3.9)	1(0.2)	444(82.1)	20(3.7)	541
女性	25 歳未満	4(4.8)	0		74(89.2)	5(6.0)	83
	25-34 歳	17(8.3)	3(1.5)		179(87.3)	6(2.9)	205
	35-44 歳	13(5.3)	4(1.6)		219(89.0)	10(4.1)	246
	45 歳以上	8(5.8)	2(1.4)		126(91.3)	2(1.4)	138
女性計		42(6.3)	9(1.3)		598(89.0)	23(3.4)	672
総計		97(8.0)	30(2.5)	1(0.1)	1042(85.9)	43(3.5)	1213

未既婚別で見ると、未婚男性のいるのは 34 名（19.9%）、1 人 12.3%、2-4 人 7.0%、5-9 人 0.6%であり、既婚男性 36 名（10.4%）、1 人 8.4%、2-4 名 2.0%であった。未婚女性は 12 名（7.2%）1 人 5.4%、2-4 人 1.8%、既婚女性 30 名（6.7%）、1 人 6.0%、2-4 人 0.7%であった。女性は男性に比べ未既婚に関係なく、特定以外との性的接触者の数は少ないものの同じ値を示していた。

表 21-2. 未既婚別決まった交際相手（配偶者含む）以外でセックスする関係

F1	世代	1人	2-4人	5-9人	いない	無回答	総計
男性	未婚	12.3	7.0	0.6	77.8	2.3	171
	既婚	8.4	2.0	0.0	85.5	4.0	346
女性	未婚	5.4	1.8	0.0	89.3	3.6	168
	既婚	6.0	0.7	0.0	90.2	3.1	449

5. 過去1ヶ月の性交回数

過去1ヶ月の性交回数について、男性は1-2回が147(27.2%)、3-4回92名(17.0%)、週1回以上68名(12.6%)、セックスがなかったもの205名(37.9%)であった。一方、女性は1-2回が177名(26.3%)、3-4回101名(15.0%)、週1回以上61名(9.1%)、セックスがなかったもの277名(39.7%)であり、両群間に有意差は認めなかった。世代間では25-34歳の性成熟期の男性において週1回以上が有意($p<0.05$)に多かった。

表 22-1. 世代別過去1ヶ月の性交回数

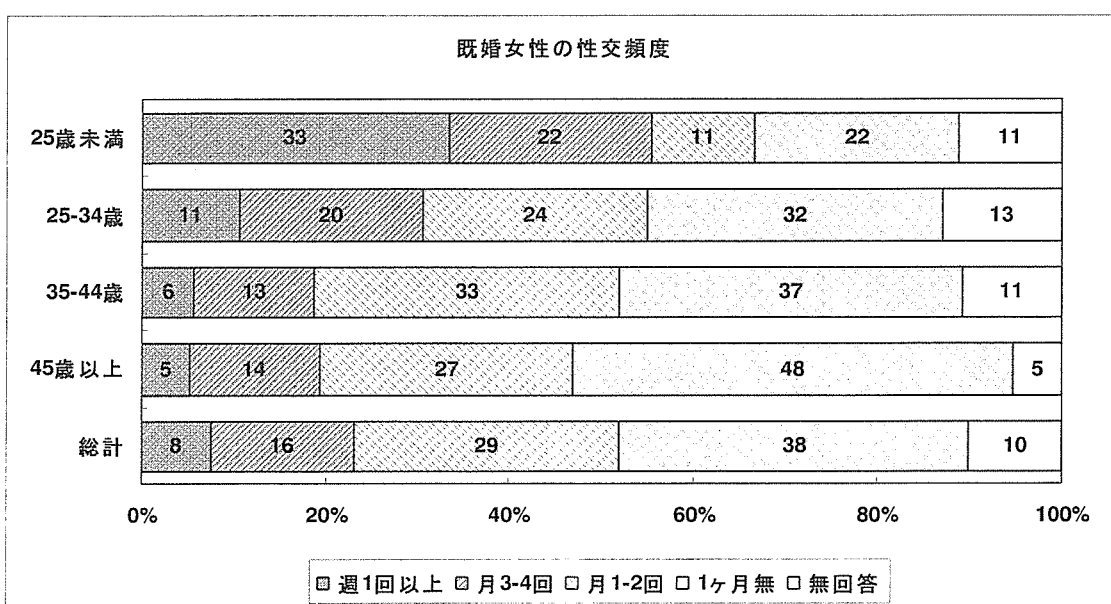
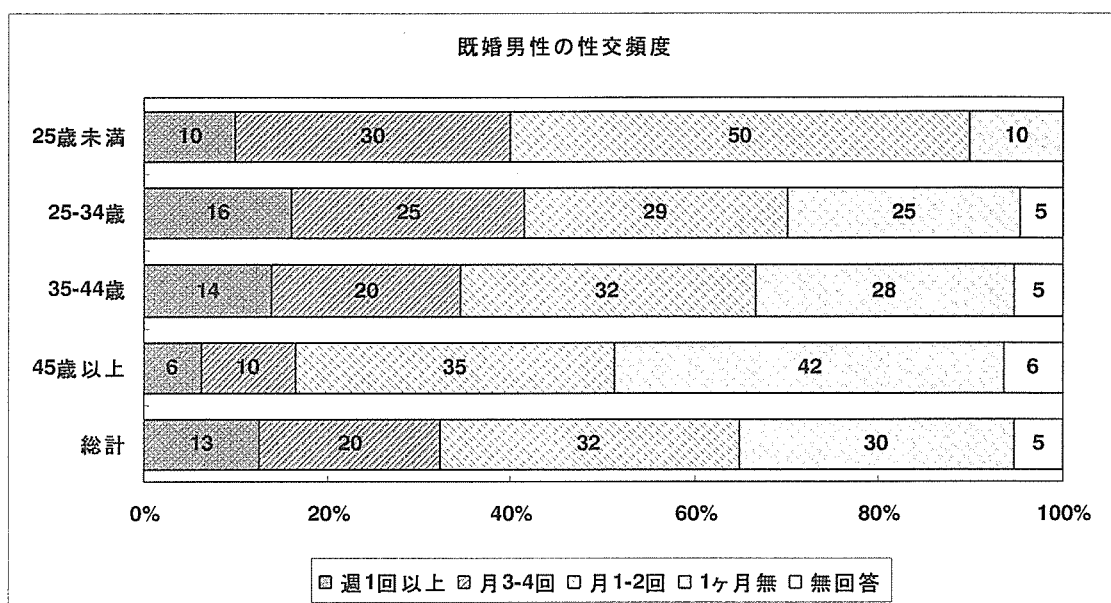
F1	世代	1-2回	3-4回	週1回以上	1ヶ月無	無回答	総計
男性	25歳未満	14(23.7)	12(20.3)	4(6.8)	27(45.8)	2(3.4)	59
	25-34歳	38(23.2)	27(16.5)	33(20.1)	59(36.0)	7(4.3)	164
	35-44歳	62(28.4)	43(19.7)	25(11.5)	74(33.9)	14(6.4)	218
	45歳以上	33(33.0)	10(10.0)	6(6.0)	45(45.0)	6(6.0)	100
男性計		147(27.2)	92(17.0)	68(12.6)	205(37.9)	29(5.4)	541
女性	25歳未満	18(21.7)	14(16.9)	15(18.1)	33(39.8)	3(3.6)	83
	25-34歳	55(26.8)	33(16.1)	21(10.2)	76(37.1)	20(9.8)	205
	35-44歳	72(29.3)	36(14.6)	17(6.9)	97(39.4)	24(9.8)	246
	45歳以上	32(23.2)	18(13.0)	8(5.8)	71(51.4)	9(6.5)	138
女性計		177(26.3)	101(15.0)	61(9.1)	277(41.2)	56(8.3)	672
総計		324(23.2)	193(15.9)	129(10.6)	482(39.7)	85(7.0)	1213

これを未既婚別にみると、未婚男性は既婚者に比べ性交回数は月1-4回の間では既婚者が有意($p<0.001$)に多いものの週1回以上では有意差はないものの僅かに未婚男性のほうが多かった。セックスがなかったものが未婚で91名(53.2%)、既婚104名(30.1%)と両者間に有意差($p<0.001$)を認めた。未婚女性では既婚者に比べ月1-4回においては既婚者が有意($p<0.05$)に多かったが、週1回以上はむしろ未婚女性のほうが多く有意差($p<0.05$)を認めた。セックスなし未婚81名(53.2%)、既婚171名(38.1%)で、未婚者に有意($p<0.05$)に高値を示

していた。既婚男性と既婚女性とにおいて週1回以上は男性のほうが有意($p < 0.05$)に多く、月1回のセックスなしは女性が多く有意差($p < 0.05$)を認めた。

表 22-2. 未既婚別過去1ヶ月の性交回数

F1	世代	1-2回	3-4回	週1回以上	1ヶ月無	無回答	総計
男性	未婚	17.0	11.1	13.5	53.2	5.3	171
	既婚	32.4	19.7	12.7	30.1	5.2	346
女性	未婚	23.2	11.9	13.7	48.2	3.0	168
	既婚	28.7	15.6	7.6	38.1	10.0	449



6. 過去1年間の性交渉の頻度・間隔について

「この12ヶ月間（1年）の、セックス（性交渉）の頻度・間隔はどのようなものか」について問いかけており、その選択肢は「1ヶ月あたりのセックス（性交渉）回数は、ある程度一定である」「…相手と機会によるため大きくばらついている」「…自分の意欲にむらがあるため大きくばらついている」という3択肢である。

結果は男性では「相手と機会によりばらついている」202名（31.8%）が多く、次いで「ある程度一定」185名（29.1%）、「自分の意欲にむら…」93名（14.6%）の順であった。女性は「ある程度一定」247名（32.0%）、「相手と機会により」195名（25.0%）、「自分の意欲に」100名（12.9%）であり、無回答が132名（17.1%）と男性に比べ有意(p<0.001)に高かった。

世代別にみると男女ともに「ある程度一定」が25-34歳、35-44歳に高値を示し、45歳以上の男性では「相手と機会により」が39.8%最高値を示していた。また、女性では「自分の意欲により」が年齢を増すごとに高値を示すようになっていた。

23-1. 世代別性交渉の頻度・間隔について

F1	世代	ある程度一定	相手と機会によりばらついている	自分の意欲にむらがあるためばらついている	無回答	総計
男性	25歳未満	15(13.0)	30(26.1)	8(7.0)	6(5.2)	59
	25-34歳	65(34.2)	61(32.1)	24(12.6)	14(7.4)	164
	35-44歳	80(35.1)	70(30.7)	43(18.9)	25(11.0)	218
	45歳以上	25(24.3)	41(39.8)	18(17.5)	16(15.5)	100
男性計		185(29.1)	202(31.8)	93(14.6)	61(9.6)	541
女性	25歳未満	33(22.4)	38(25.9)	2(1.4)	10(6.8)	83
	25-34歳	80(34.3)	68(29.2)	20(8.6)	37(15.9)	205
	35-44歳	90(35.4)	52(20.5)	48(18.9)	56(22.0)	246
	45歳以上	44(31.7)	35(25.2)	30(21.6)	29(20.9)	138
女性計		247(32.0)	193(25.0)	100(12.9)	132(17.1)	672
総計		432(30.7)	395(28.0)	193(13.7)	193(13.7)	1213

未婚別についてみると、男女ともに未婚者は「相手と機会により」が高く、既婚者は「ある程度一定」が高かった。その割合はいずれも男性のほうが高かった。また、未婚女性は「自分の意欲に」が2.4%と既婚女性に比べ有意(p<0.001)に低かった。

表 23-2. 未既婚別性交渉の頻度・間隔について

	婚姻	ある程度一定	相手と機会によりばらついている	自分の意欲にむらがあるためばらついている	無回答	総計
男性	未婚	31(18.1)	88(51.5)	27(15.8)	25(14.6)	171
	既婚	146(42.2)	104(30.1)	64(18.5)	32(9.2)	346
女性	未婚	57(33.9)	76(45.2)	4(2.4)	31(18.5)	168
	既婚	174(38.8)	104(23.2)	90(20.0)	81(18.0)	449

性行動の実態の小括

1. 性交経験率

男性は未既婚含め 85%が経験者であり、前回調査時より 3 ポイント上昇しており、女性は 86%で前回より 1.2 ポイントの微増であった。これを 5 歳階級別に前回調査と比較すると 20 歳未満男性で 30%、7 ポイントの上昇、20 歳前半で 72%、10 ポイントの上昇と 25 歳未満群で上昇しており、その他の年代では大きな変化はみられなかった。女性は 20 歳前半で 72%、11 ポイント上昇しており、その他の年代では大きな変化はみられなかった。

2. 過去 1 年間の性的パートナーの数

2 人以上の複数のパートナーを有していたのが男性で 29%であり、うち 25 歳未満では 48%と高値を示していた。女性は 15%で、25 歳未満では 27%であった。未既婚別で複数のパートナーを持つのは未婚男性 48%、既婚 17%であり、未婚女性は 27%、既婚 9%であった。

1 項の性交経験率とあわせ考えると、若年男性において女性よりも活発化傾向が窺われた。

3. 性的パートナーが変わることの意味合い

性的パートナーが変わることを重大なことと深刻視するのは男性で 70%、女性 86%と女性に有意($p < 0.001$)に高値であった。未既婚別で見ると未婚男性は 62%、既婚 76%、未婚女性 79%、既婚 85%と男女とも既婚者が高かった。

4. 決まった交際相手（含む配偶者）以外でセックスする関係

決まった交際相手（含む配偶者）以外でセックスするものは男性で 14%、女性 8%にみられ、未既婚別では未婚男性 20%、既婚 10%であり、未婚女性 7%、既婚 7%と同じ値であった。

5. 過去1ヶ月の性交回数

過去1ヶ月間の性交回数は、男性月1-2回が27%、月3-4回17%、週1回以上13%と続いており、月1回も無が38%であった。週1回以上では25-34歳男性20%であった。女性は1-2回26%、3-4回15%、週1回以上9%、1ヶ月無41%であり、週1回以上では25歳未満が18%と高値を示していた。

未既婚別でみると1-2回が男女ともに既婚者に高く、週1回以上が未婚男性14%、未婚女性14%と既婚女性より有意に高値を示していた。セックスレスのカップルは、男性30%、女性38%であり、前回調査時では28%と41%で男性が2ポイント上昇し、女性は3ポイントの減少であった。

既婚者における性交頻度をみると、25歳未満の女性では週1回以上が33%に対し男性は10%にしか過ぎなかったが、性成熟期における1ヶ月1回未満のセックスレスカップルは、男性25%に対し女性32%、月1-2回が男性29%、女性24%、これを合わせると男性は54%、女性56%となり、避妊実行の是非を考慮するまでもなく女性が妊娠・出産という可能性は極めて少なくなるということが窺い知れた。

Ⅱ. 性意識の4. 項「セックスに対する関心度」、5. 「異性とかかわることの面倒さ」でも述べたように、女性の方が男性に比べ性に対する関心度が低く、異性とのかかわりも面倒と考えるのが多く、しかも結婚することによりそれが増長していたことと、現実の既婚者のセックスレス女性が増えているということから「わが国の少子化問題」の一大側面が明らかとなった。

6. 過去1年間の性交渉の頻度と間隔

過去1年間における性交頻度と間隔については、男性は「相手と機会によりばらついている」が32%と多く、特に、45歳以上では40%であった。女性は、「ある程度一定」が32%と高く、25-34歳34%、35-44歳35%であり、男性と全く同じ割合であった。

これを未既婚別でみると、既婚者は「ある程度一定している」が男性42%、女性39%であり、「相手と機会によりばらついている」が未婚男性52%、女性45%と高い数値を示していた。これは未婚のため互いの仕事などの関係が影響しているものと考えられる。

「1ヶ月あたりのセックス回数は、自分の意欲にむらがあるため大きくばらついている」と答えるのは未婚男性(15.8%)と既婚男性(18.5%)と差は認められないものの、未婚女性(2.4%)に比べると女性の方が有意($p<0.001$)に低くなっていた。しかしながら既婚女性は20.0%と高値を示し、未既婚女性間で有意差($p<0.001$)を認めた。このことは女性が結婚することによりセックスに対する行動の決定力が高まってきていることが示唆された。

IV. 初交について

1. 各年代間における平均初交年齢

初交時の年齢は男性で 12-37 歳であり平均年齢 19.0±3.2 歳 (n=498) 女性は 13-38 歳で平均 19.4±3.3 歳 (n=590)、男女間に有意差(p<0.05)を認めた。前回 2004 年調査では男性 19.2±3.4 歳 (n=498)、女性 19.4±3.2 歳 (n=646) であり殆ど変化は認められなかった。

これを 5 歳階級別で見ると次のごとくとなる。

	男性	女性
20 歳未満 (n=17)	15.8±1.3 歳 (16.3±0.9)	(n=15) 16.5±1.3 歳 (16.2±1.6)
20-24 歳 (n=41)	17.0±2.2 歳 (17.8±1.8)	(n=61) 17.7±2.2 歳(17.6±1.8)
25-29 歳 (n=65)	18.4±2.4 歳 (18.6±2.8)	(n=75) 18.6±2.5 歳(18.6±2.2)
30-34 歳 (n=89)	19.6±3.5 歳 (18.7±2.9)	(n=105) 19.2±3.3 歳(19.0±3.2)
35-39 歳 (n=104)	19.1±3.0 歳(19.9±3.9)	(n=120) 19.5±3.2 歳(19.8±3.5)
40-44 歳 (n=93)	19.1±3.0 歳 (19.8±4.1)	(n= 88) 20.0±3.6 歳(20.2±3.4)*
45 歳以上 (n=89)	19.8±3.1 歳 (20.0±3.5)	(n=126) 20.8±3.4 歳(20.6±3.2)*

各年代における男女間での平均初交年齢で 40-44 歳、45 歳以上群に有意差(p<0.05)を認めた。

男性においては 20 歳未満と 20 歳前半、20 歳前半と後半、20 歳後半と 30 歳前半との間に有意差を認めた。

女性においては、20 歳未満と 20 歳前半、20 歳前半と 20 歳後半、40 歳前半と後半との間に有意差を認めた。

尚、() 内は前回調査の初交時の平均年齢を示した。

2. 初交時に対する認識

初交時の認識として「かなり重大に考えていた」が、男性 207 名(37.7%)、女性 360 名 (53.6%)、「重大に考えていた」男性 138 名(25.5%)、女性 153 名(22.8%)、重大以上を合わせると男性 342 名(63.2%)、女性 513 名 (76.3%) と女性のほうが重大に捉えており男女間に有意差(p<0.001)を認めた。

世代別で見ると男性は各世代において重大と考えているのが 6 割を超えており、一方、女性は 25-35 歳、34-44 歳ではかなり重大と捉えるものが 51.7%、51.2%とやや低く、45 歳以上では 59.4%と高値を示していた。

表 24-1. 世代別初交時のセックスへの認識

F1	世代	かなり重大	やや重大	やや軽く	かなり軽く	無回答	総計
男性	25歳未満	23(39.0)	18(30.5)	15(25.4)	3(5.1)		59
	25-34歳	54(32.9)	45(27.4)	42(25.6)	17(10.4)	6(3.7)	164
	35-44歳	83(38.1)	55(25.2)	54(24.8)	18(8.3)	8(3.7)	218
	45歳以上	44(44.0)	20(20.0)	25(25.0)	7(7.0)	4(4.0)	100
男性計		204(37.7)	138(25.5)	136(25.1)	45(8.3)	18(3.3)	541
女性	25歳未満	46(55.4)	17(20.5)	8(9.6)	7(8.4)	5(6.0)	83
	25-34歳	106(51.7)	43(21.0)	37(18.0)	10(4.9)	9(4.4)	205
	35-44歳	126(51.2)	60(24.4)	35(14.2)	8(3.3)	17(6.9)	246
	45歳以上	82(59.4)	33(23.9)	16(11.6)	2(1.4)	5(3.6)	138
女性計		360(53.6)	153(22.8)	96(14.3)	27(4.0)	36(5.4)	672
総計		564(46.5)	291(24.0)	232(19.1)	72(4.5)	54(4.5)	1213

未既婚についてみると、未婚男性は重大と捉えるもの 108 名 (63.2%)、既婚男性 221 名 (63.9%)、未婚女性 130 名 (77.4%)、既婚女性 347 名 (77.3%) 男女とも未既婚間に有意差は認めなかった。

表 24-2. 未既婚別初交時のセックスへの認識

F1	F5	かなり重大	やや重大	やや軽く	かなり軽く	無回答	総計
男性	未婚	36.3	26.9	26.3	9.4	9.4	171
	既婚	38.2	25.7	24.0	7.5	4.6	346
女性	未婚	51.2	26.2	14.3	5.4	3.0	168
	既婚	55.9	21.4	13.1	3.1	6.5	449

3. 初交相手との知り合ったきっかけ

初交相手との知り合ったきっかけとして、男性は「友達・知り合いの紹介」が最も多く 187 名(34.6%)、次いで「同級生・同じ学校の人」155 名 (28.7%)、「職場・バイト先」58 名(10.7%)、その他「お見合い」1.5%、「ナンパ」3.9%であった。

女性は「友達・知り合いの紹介」が男性同様最も多く 225 名(33.5%)、次いで「同級生・同じ学校の人」152 名(19.9%)、「職場・バイト先」167 名(21.9%)、その他「お見合い」2.5%、「ナンパ」3.0%であった。

若い世代の男性では友人・知人であり、同級生・同校生であった。職場・バイト先は 10% 強でしか過ぎなかった。女性は 25 歳未満では同級生・同校生が最も多く、25-34 歳、35-44 歳は友人知人の紹介が多くなっており、年齢が高くなるにつれ職場・バイト先が増えていた。

表 25-1. 世代別初交時の相手

F1	世代	友人知人の紹介	同級生・同校生	職場・バイト先	お見合い	ナンパ	この中にない	無回答	総計
男性	25歳未満	30(50.8)	22(37.3)	1(1.7)		1(1.7)	5(8.5)		59
	25-34歳	58(35.4)	54(32.9)	18(11.0)		2(1.2)	26(15.9)	6(3.7)	164
	35-44歳	65(29.8)	57(26.1)	27(12.4)	3(1.4)	14(6.4)	42(19.3)	10(4.6)	218
	45歳以上	34(34.0)	22(22.0)	12(12.0)	5(5.0)	4(4.0)	17(17.0)	6(6.0)	100
男性計		187(34.6)	155(28.7)	58(10.7)	8(1.5)	21(3.9)	90(16.6)	22(4.1)	541
女性	25歳未満	29(34.9)	35(42.2)	6(7.2)		2(2.4)	6(7.2)	5(6.0)	83
	25-34歳	71(34.6)	61(29.8)	40(19.5)		8(3.9)	15(7.3)	10(4.9)	205
	35-44歳	87(35.4)	47(19.1)	60(24.4)	5(2.0)	9(3.7)	19(7.7)	19(7.7)	246
	45歳以上	38(27.5)	19(13.8)	40(29.0)	12(8.7)	1(0.7)	22(15.9)	6(4.3)	138
女性計		225(33.5)	162(24.1)	146(21.7)	17(2.5)	20(3.0)	62(9.2)	40(6.0)	672
総計		412(34.0)	317(26.1)	204(16.8)	25(2.1)	41(3.4)	152(12.5)	62(5.1)	1213

未既婚別では、「同級生・同校生」が既婚男性では有意($p<0.05$)に高く、逆に、未婚女性の方が有意($p<0.01$)に高値であった。他の項目では有意差は認めなかった。

表 25-2. 未既婚別初交時の相手

F1	F5	友人知人の紹介	同級生・同校生	職場・バイト先	お見合い	ナンパ	この中にない	無回答	総計
男性	未婚	40.4	22.8	9.4	0.0	1.8	24.0	1.8	171
	既婚	32.1	32.1	11.0	2.3	4.3	13.0	5.2	346
女性	未婚	32.1	31.5	19.6	0.6	3.0	8.9	4.2	168
	既婚	33.9	21.2	23.4	3.3	2.7	8.9	6.7	449

4. 初交に至ったきっかけと交際期間

初交に至ったきっかけとして、「恋人だったから」が男性で 306 名 (56.6%)、女性では 420 名 (62.5%) と過半数以上を占めていた。次に多いのは男性で「なんとなく」が 75 名 (13.9%)、女性も同様になんとなく 10.7%であった。「好きだったから」は男性 8.7%、女性 7.6%であった。

世代別に違いがみられたのは、男性では「相手は恋人」が世代とともに低下し、女性では「相手と結婚した」が同様に 45 歳以上で 23.2%と有意($p<0.001$)に高値を示していた。

表 26-1. 世代別初交に至ったきっかけ

F1	世代	相手と結婚した	相手は恋人	恋人ではないが好きだったから	なんとなく	この中 にない	無回答	総計
男性	25 歳未満	1(1.7)	42(71.2)	5(8.5)	7(11.9)	4(6.8)		59
	25-34 歳	4(2.4)	101(61.6)	12(7.3)	21(12.8)	19(11.6)	7(4.3)	164
	35-44 歳	6(2.8)	122(56.0)	17(7.8)	31(14.2)	33(15.1)	9(4.1)	218
	45 歳以上	6(6.0)	41(41.0)	13(13.0)	16(16.0)	19(19.0)	5(5.0)	100
男性計		17(3.1)	306(56.6)	47(8.7)	75(13.9)	75(13.9)	21(3.9)	541
女性	25 歳未満		58(69.9)	10(12.0)	7(8.4)	3(3.6)	5(6.0)	83
	25-34 歳	7(3.4)	148(72.2)	10(4.9)	22(10.7)	7(3.4)	11(5.4)	205
	35-44 歳	20(8.1)	143(58.1)	20(8.1)	33(13.4)	8(3.3)	22(8.9)	246
	45 歳以上	32(23.2)	71(51.4)	11(8.0)	10(7.2)	8(5.8)	6(4.3)	138
女性計		59(8.8)	420(62.5)	51(7.6)	72(10.7)	26(3.9)	44(6.5)	672
総計		76(6.3)	726(59.9)	98(8.1)	147(12.1)	101(8.3)	65(5.4)	1213

未既婚別でみると、男性では各項目に大きな違いはみられなかった。一方、女性でも「相手は恋人」が未婚に多く、逆に、数値は低いものの「相手と結婚した」が有意($p<0.001$)に高値を示していた。

表 26-2. 未既婚別初交に至ったきっかけ

F1	F5	相手と結婚した	相手は恋人	恋人ではないが好きだったから	なんとなく	この中に ない	無回答	総計
男性	未婚	1.8	57.9	7.6	14.6	17.0	1.2	171
	既婚	3.8	57.2	8.7	13.0	12.1	5.2	346
女性	未婚	1.8	70.2	10.1	8.9	4.8	4.2	168
	既婚	11.6	60.8	6.5	10.5	3.1	7.6	449

5. 初めてセックスをした後どんなきもちでしたか？

初交後の印象として、「とにかくうれしかった」が男性 240 名 (44.4%)、女性 154 名 (22.9%) であり男女間に有意差($p<0.001$)を認めた。「肩の荷がおりた感じがした」男性 48 名 (8.9%)、女性 49 名 (7.3%)、「何とも感じなかった」男性 57 名 (10.5%)、女性 69 名 (10.3%)、「期待はずれで少し落胆した」男性 53 名 (9.8%)、女性 56 名 (8.3%)、「虚しかった、後悔した」男性 11 名 (2.0%)、女性 47 名 (7.0%) で男女間に有意差 ($p<0.001$)を認めた。「この中がない」が男性 107 名 (19.8%)、女性 250 名 (37.2%) で男女間に有意差($p<0.001$)を認めた。

表 27. 初交時の印象

F1	世代	うれしかった	肩の荷が下りた	何とも感じなかった	期待はずれ	虚しかった	この中がない	無回答	総計
男性	24 歳以下	39.0	8.5	13.6	10.2	5.1	22.0	1.7	59
	25-34 歳	44.5	6.7	12.2	11.0	1.2	19.5	4.9	164
	35-44 歳	46.3	9.6	9.6	8.7	2.3	18.8	4.6	218
	45 歳以上	43.0	11.0	8.0	10.0	1.0	21.0	6.0	100
男性計		44.4	8.9	10.5	9.8	2.0	19.8	4.6	541
女性	24 歳以下	32.5	6.0	18.1	3.6	8.4	25.3	6.0	83
	25-34 歳	23.9	11.2	9.8	11.2	4.9	33.2	5.9	205
	35-44 歳	22.0	4.5	10.6	7.7	8.1	37.8	9.3	246
	45 歳以上	17.4	7.2	5.8	8.0	7.2	49.3	5.1	138
女性計		22.9	7.3	10.3	8.3	7.0	37.2	7.0	672
総計		32.5	8.0	10.4	9.0	4.8	29.4	5.9	1213

6. 出会ってから初交に至るまでの期間

男性では3ヶ月未満が23.8%と最も多く、次いで1ヶ月未満が19.0%と続いており、女性は同様に3ヶ月未満20.5%、1年未満18.9%、6ヶ月未満18.0%と続いていた。これを世代別でみると男性の25歳未満は1ヶ月未満27.1%、25-34歳1ヶ月未満22.6%、35-44歳3ヶ月未満27.1%、45歳以上3ヶ月未満の22.0%であった。女性は25歳未満1ヶ月未満28.9%、25-34歳、35-44歳、45歳以上3ヶ月未満で22.9%、18.7%、19.6%であった。尚、当日は男性10.9%に対し女性2.5%と男性が有意($p < 0.001$)に高値を示していた。

表 28. 出会いから初交に至るまでの期間

F1	世代	当日	<1W	<1M	<3M	<6M	<1Y	<3Y	>3Y	無回答	総計
男性	25歳未満	5.1	6.8	27.1	23.7	18.6	8.5	5.1	3.4	1.7	59
	25-34歳	9.8	7.3	22.6	20.7	12.8	14.6	6.1	0.6	5.5	164
	35-44歳	11.5	4.6	14.7	27.1	13.8	13.8	6.4	1.8	6.4	218
	45歳以上	15.0	4.0	18.0	22.0	16.0	11.0	5.0	2.0	7.0	100
男性計		10.9	5.5	19.0	23.8	14.4	12.9	5.9	1.7	5.7	541
女性	25歳未満	1.2	4.8	28.9	21.7	14.5	13.3	6.0	2.4	7.2	83
	25-34歳	2.9	4.4	18.0	22.9	19.5	16.6	6.3	1.0	8.3	205
	35-44歳	3.7	3.3	13.0	18.7	18.3	17.5	8.5	5.7	11.4	246
	45歳以上	0.7	0.7	8.0	19.6	17.4	28.3	13.8	5.8	5.8	138
女性計		2.5	3.3	15.5	20.5	18.0	18.9	8.6	3.9	8.8	672
総計		6.3	4.3	17.1	22.0	16.4	16.2	7.4	2.9	7.4	1213

初交からの交際期間は、男性で3年未満が18.1%と最も多く、女性は5年以上で27.7%であった。1週未満が男性10.7%、女性4.2%と男性が有意($p < 0.001$)に高値であった。

表 29. 初交からの交際期間

	世代	<1W	<1M	<3M	<6M	<1Y	<3Y	<5Y	>5Y	無回答	総計
男性	25歳未満	6.8	16.9	27.1	13.6	18.6	11.9	3.4	1.7	0.0	59
	25-34歳	10.4	7.9	9.1	8.5	17.7	20.7	7.3	9.8	8.5	164
	35-44歳	11.0	4.1	9.6	10.1	16.5	18.8	5.5	15.1	9.2	218
	45歳以上	13.0	7.0	5.0	7.0	19.0	16.0	4.0	19.0	10.0	100
男性計		10.7	7.2	10.5	9.4	17.6	18.1	5.5	12.8	8.1	541
女性	25歳未満	9.6	7.2	8.4	18.1	19.3	24.1	2.4	3.6	7.2	83
	25-34歳	2.9	4.9	10.7	6.8	13.2	22.4	8.3	22.0	8.8	205
	35-44歳	4.5	3.7	5.7	6.1	15.4	19.1	3.3	29.3	13.0	246
	45歳以上	2.2	1.4	3.6	5.1	12.3	16.7	5.1	47.8	5.8	138
女性計		4.2	4.0	7.1	7.6	14.6	20.2	5.1	27.7	9.5	672
総計		7.1	5.4	8.7	8.4	15.9	19.3	5.3	21.0	8.9	1213

7. 初交時の避妊

初交時の避妊について、男性は避妊を行ったものは355名(65.6%)、行わなかったが132名(24.4%)であり、前回調査の60.2%、未実行26.9%に比べ避妊実行率は上昇しているものの有意差は認められなかった。女性は実行したが394名(58.6%)、実行しなかった156名(23.2%)で、前回調査の58.5%と未実行25.4%で殆ど変化していなかった。また、男性と女性の間で避妊実行率が有意($p<0.05$)に高値であった。

男性の世代別の避妊実行率については、25歳未満と25-34歳との間には有意差は認めなかったが、そのほかの各世代間では有意差を認め、世代が高くなるにつれて低下していた。女性では、世代が高くなるにつれて低下しているが、45歳以上と25歳未満、25-34歳の間で有意差を認めた。

表 30-1. 世代別初交時の避妊実行率

F1	世代	した	しなかった	わからない	無回答	総計
男性	25歳未満	79.7	16.9	3.4	0.0	59
	25-34歳	74.4	15.9	4.3	5.5	164
	35-44歳	62.8	25.7	5.5	6.0	218
	45歳以上	49.0	40.0	5.0	6.0	100
男性計		65.6	24.4	4.8	5.2	541
女性	25歳未満	69.9	16.9	7.2	6.0	83
	25-34歳	62.4	19.0	13.2	5.4	205
	35-44歳	57.3	21.5	12.6	8.5	246
	45歳以上	48.6	36.2	10.9	4.3	138
女性計		58.6	23.2	11.8	6.4	672
総計		61.7	23.7	8.7	5.9	1213

未婚男性の避妊実行率は78.9%で既婚男性の59.8%に比べ高く有意差($p<0.001$)を認めた。未婚女性のそれは66.7%で既婚女性58.8%より高いものの有意差は認めなかった。未婚男性と未婚女性の実行率は男性に高く有意差($p<0.05$)を認めた。

表 30-2. 未既婚別初交時の避妊実行率

F1	F5	した	しなかった	わからない	無回答	総計
男性	未婚	78.9	14.0	5.3	1.8	171
	既婚	59.8	28.9	4.6	6.6	346
女性	未婚	66.7	16.7	11.3	5.4	168
	既婚	58.8	23.8	10.5	6.9	449